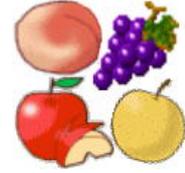


平成26年度 果樹情報 第19号

(平成27年3月13日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (果樹研究所)

3月上旬の平均気温は1半旬が3.3℃で平年より0.3℃低く、2半旬が4.6℃で平年より1.1℃高い状況でした。この期間の降水量は81.5mmで平年の379%でした。

2 発芽予測 (果樹研究所)

今後の気温が平年並に経過した場合の各樹種の発芽は、もも「あかつき」が3月27日で平年より1日遅く、なし「幸水」が4月3日で平年並、りんご「ふじ」が3月27日で平年より2日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響を大きく受けるため、今後の気温の推移により変動する可能性があるので注意しましょう。

表1 発芽予測 (平成27年3月12日現在)

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
もも あかつき	3月26日	3月26日	3月27日	3月24日	3月31日
なし 幸水	4月2日	4月3日	4月3日	3月29日	4月8日
りんご ふじ	3月28日	3月29日	3月27日	3月23日	3月31日

注) 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測。平年は1981～2010年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成27年3月12日発表)

今後の気温経過は、1週目(3月14日～3月20日)は平年より高い確率が70%、2週目(3月21日～3月27日)は低い及び平年並の確立が各々40%、3～4週目(3月28日～4月10日)は平年並の確率が40%となっています。

3 栽培上の留意点

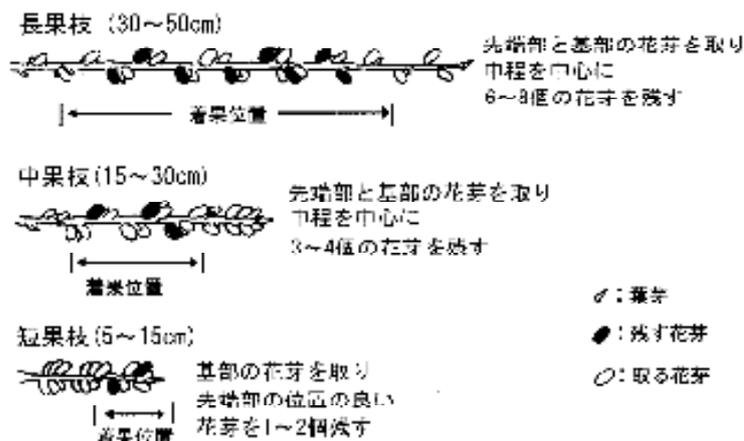
(1) 管理作業の計画的実施

発芽予測日と気象予報を考慮し、せん定やせん定枝処理、誘引、休眠期防除等の管理作業は、遅れないよう計画的に実施しましょう。

(2) ももの摘らい

摘らい作業の適期は3月上旬から発芽直前頃までです。

発芽期以降は葉芽を痛めやすく、花らいも離脱しにくくなるため、作業能率が極端に低下しますので、計画的な作業を心掛けましょう。



4 病虫害防除上の留意点

休眠期の防除は、温暖無風の日を選び発芽前までに確実に実施しましょう。

(1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除と発病部位の除去を徹底しましょう。また、リンゴハダニの越冬卵が多い園では、発芽1週間前までに防除を実施しましょう。

(2) もも

縮葉病やハダニ類、カイガラムシ類等に対する休眠期の防除を徹底しましょう。また、コスカシバの発生が多い園では、縮葉病の防除後に樹幹部および主枝を対象として防除薬剤を手散布しましょう。

(3) なし

黒星病に対する休眠期の防除は、発芽10日前までに完了させましょう。本病の枝病斑が見られる場合は、芽基部感染が多くなるおそれがありますので、せん定や誘引の際に除去を心掛けましょう。

また、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い場合は、発芽前に防除を実施しましょう。

(4) ぶどう

晩腐病の防除のため、休眠期の防除を徹底するとともに、巻きひげや結果母枝の枯死部等を丁寧に除去し、越冬菌密度の低下を図りましょう。

せん定枝および伐採樹の取り扱いについて

せん定枝や伐採樹の野外焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」において、原則禁止されていますので適切に処理しましょう。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html>